

若い力で、切り拓く。

私の、決意。



なか
そ
ね
中曾根
やすたか
39才

1 最優先で取り組む
「新型コロナ対策強化」

5 次代に継承できる
「農業政策」

2 感染症や大規模災害に
対応可能な「憲法改正」

6 中小企業が実感できる
「経済対策」

3 時代の変化に対応した
「教育改革」

7 国民の生命と財産を守るための
「戦略的外交」

4 子育ての不安を解消する
「総合的少子化対策」

8 若い世代も参加したくなる
「政治制度改革」

主なプロフィール

昭和57(1982)年1月19日生まれ 群馬県前橋市在住

◆慶應義塾大学 法学部法律学科 卒業

◆米国コロンビア大学院 国際関係学修士号取得

◆JPモルガン証券株式会社 ◆中曾根弘文参議院議員 秘書

◆第48回 衆議院議員総選挙 自民党北関東ブロック 当選

◆自民党青年局長、青年局国際部副部長、青年局学生部副部長、

外交部会副会長、教育再生調査会事務局次長

○好きな言葉「自我作古」

挑戦する前人未踏の分野を、
困難や試練に耐えて
開拓していく、という
勇気と使命感を示す言葉です。



SNSに日々の活動をアップしております

SNS・サポーター登録はこちら!

友だち募集中 LINE公式アカウント

斉藤あつこ Profile

1967年 前橋生まれ 前橋市在住

敷島小、前橋三中、前橋女子校、
前橋東看護学校、群馬大学医学部
保健学科卒業、臨床心理学修士、
東京大学大学院医学系研究科グロ
ーバルヘルスリーダーシッププロ
グラム終了

家族 夫、子ども3人

主な職歴

善衆会病院
宮城村保健センター保健師
県内看護大学准教授
海外医学大学客員教授

立憲民主党群馬県総支部連合会支援 連合群馬支持

群馬をまもり、日本をまもる

斉藤あつこ

看護師 助産師 保健師

★国民全員に2回目・3回目の定額給付金を!
★コロナ禍で打撃を受けた幅広い業界にもっと補償金を!
★消費税5%へ!!



斉藤あつこ公式HP
もご参照ください!



斉藤あつこ

衆議院議員総選挙 (最高裁判所裁判官国民審査)

10月31日(日) 投票日

◎ 投票時間は、午前7時からです。

終了時刻は市町村により異なりますので、投票所入場券などによりお確かめください。

◎ 期日前投票・不在者投票 10月30日(土)まで 午前8時30分から午後8時まで
投票日当日に投票ができない方は、期日前投票又は不在者投票をしましょう。

※ 期日前投票は、市役所や町村役場などで行うことができます。
支所・出張所などでは期間や日時が異なる場合があります。
詳しくは市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

◎ 新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養をされている有権者は、
特例郵便等投票が利用できます。投票用紙の請求期限は、10月27日(水)午後5時です。
詳しくは、市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。



群馬県のマスコット
「くんまちゃん」



日本共産党
**たなはし
せいすけ**

なにより、いのち。

ぶれずに、つらぬく

岸田新自公政権は、政治の中心でも、体制の面でも、9年間の安倍・菅政治の負の遺産を丸ごと引き継ぐ直系政権です。貧富の格差を大きく広げ、辺野古新基地建設や原発再稼働、学術会議会員任命拒否など、国民の声を「聞く耳」は持ち合わせていません。森友・加計問題や桜を見る会で、政治モラルの墮落と崩壊が極端なものになりました。政治を変えるには政権交代しなくてはなりません。

ぜひ私を国会に押し上げてください。

4つのチェンジ

コロナ危機を乗り越え、暮らしに安心と希望を

高齢者の医療負担増中止。病床の削減計画を白紙撤回。医療・介護などケア労働者の待遇改善。

気候危機打開する2030戦略

原発ゼロ、石炭火力ゼロ、省エネ・再エネでCO2を2030年までに、55%削減します。

ジェンダー平等社会の実現 多様性と個人の尊厳を大切に

男女の賃金格差を政治の責任で是正します。選択的夫婦別姓を実現し、同性婚を認めます。

憲法9条を生かした平和外交

核兵器禁止条約に参加する政府をつくります。安保法制を廃止して、軍縮に転換します。

■1961年生まれ。前橋市在住。前橋市立女子高、県立保育大学校卒。さりのこ保育園保育士。前橋市議1期。日本共産党前橋地区委員会副委員長。

政権交代をはじめよう

市民と野党
の共闘

コロナ対策3本の柱

- ①ワクチンと一体で大規模検査
いつでも、誰でも、無料で、何度でも
- ②緊急時に備えられる医療・保健
所体制の強化
- ③コロナ危機で傷んだ暮らしと
営業への補償
収入減の人に10万円の「暮らし応援給付金」を支給



たなはしせいすけ
ホームページ

代表は
日本共産党
と共闘を
ください

「1強」を破り、消費税5%へ

① 消費税を5%に減税

新型コロナ禍で地方経済は大きな被害を受けました。消費税を5%に引き下げ、経済と暮らしを立て直します。

④ 大学の学費を無料に

高等教育を無償で受けられるのは、先進国の常識。大学の学費を無料化、だれでも学べる社会にします。

② とことん現金給付

感染予防のための人流抑制は、多くの人に収入減をもたらします。全世帯への現金給付で生活を下支えします。

⑤ 地方にこそ公共交通を

免許を返納する高齢者が増えています。バスなどの公共交通を充実、マイカーなしで暮らせる地方にします。

③ いつでもすぐにウイルス検査

感染が不安になったら、いつでもすぐにPCR検査などを受けられる体制を構築。市民の不安を解消します。

⑥ 地方に住めるリモート革命

若者が地元に住み続けられないのは、魅力的な仕事が少ないから。群馬に住んで東京で働くライフスタイルを確立。



心を燃やせ



宮崎
たくし
公認
日本維新の会

プロフィール

群馬に生まれ、育ち、働く、元上毛新聞記者

1970年、前橋市生まれ。県立前橋高一中央大を卒業後、上毛新聞記者として約15年間、幅広く群馬県内のニュース取材に携わる。群馬に生まれ、群馬で育ち、群馬で働いてきた生粋の上州人

二児の父、不屈の上州人

二度の落選を経験しながらも、「政権交代が可能なら、緊張感のある政治」を目指し、地を這う政治活動が続ける。家庭では10歳長男、2歳長女を育てる二児の父。只今、子育て真っ最中！

疑念追及で活躍

旧民主党一進党で衆議院議員を2期務める。衆議院で初めて安倍首相(当時)に加計学園問題の質問を直接ぶつけるなど、森友・加計問題の追及で注目され、2017年には田原総一郎氏が主宰するNPOから「三ツ星議員」として表彰される。

医療政策

父は前橋赤十字病院院長を務めた医師・宮崎瑞穂。実弟も医師でコロナ診療の最前線に立ち、専門家として「報道ステーション」等のニュース番組に出演したことも。周囲に医療関係者の多い生い立ちから、記者時代は多くの医療問題を取材。初当選後は長く厚生労働委員会に所属、ライフワークとして医療政策に取り組み。

10月31日(日)は投票日です



<投票方法(投票用紙)>

- ・衆議院議員総選挙(小選挙区)
…候補者の氏名を記載(あさぎ色の投票用紙)
- ・衆議院議員総選挙(比例代表)
…政党名を記載(ピンク色の投票用紙)
- ・最高裁判所裁判官国民審査
…罷免したい裁判官に×を記載(うぐいす色の投票用紙)
(罷免しない・辞めさせなくてよい裁判官には何も記載しない)

◎各投票所では消毒や換気などの感染症対策を徹底します。

◎投票の際はマスク着用や周りの方との距離の確保、ご帰宅後のうがい、手洗いに協力をお願いします。

